

デキる男は黒を使う/史上最高に分かりやすいバンカー攻略法

EVEN

For Stylish Golf Player[イーブン]

2017/Vol.101



3

デキる男は 黒を使う

女性ゴルファーを
楽しませるためのアレコレ
また一緒にゴルフしたいと思われる
史上最高に分かりやすい
バンカー攻略法

M1、M2の最新作が登場
伝承、そして進化

20のギアブランドがロッテ葛西ゴルフに集結!
EVEN SUPER試打会リポート

隔月連載 タクミのカクケン

クラブデザイナー 増田雄二



なぜ今、
黒なのか?

もう
苦手とは
いわせない!

精度

幅約3mmの上で完璧なバランスを保つ

クロノスゴルフのバターはヘッドの重心がフェースセンターとなるよう製造され、全数検査される。サイトラインを中心に約3mmの上で完璧なバランスを保つ。これは高精度な削り出し技術の賜物だ。

KRONOS



伝統

往年の形状を現代のゴルフに昇華

「リンクスoul」のジョン・アシュワース氏からの依頼で手掛けた伝統的な形状ながらネック構造などで現代のゴルフに適応。¥110,000+税

KONFORMIST



KRONOS D'ARCY KONFORMIST

米アバリスト、リンクスoulとのコラボレーションをきっかけに、ゴルフの伝統に憧憬を抱いて生まれた字バター。ネックの太さや長さを調整し、現代的な形状ながらネック構造などで現代のゴルフに適応。¥110,000+税

ミルドバターの あるべき未来像

ロングネックのブレードや一字など、「クロノスゴルフ」はどこか往時の名器を彷彿させるバター。ブランドロゴも、旧き良き時代を蘇らせるという思いが込められたものだ。だが、このバターが単なる権威主義と線を画すのは、そこに最新の重心設計や加工技術を投入し、新たな命を吹き込んでいるからである。

密なミルド加工は、他の多くのミルドバターが削り出し後に加工を施し、バランスを調整するのに対し、彼らは通常の10倍もの時間をかけ、初期のミルド工程でほぼ完成形まで近づける。一つのインゴットから削り出し、溶接や鍛造、刻印などを一切行わないことで、精度を極限に高めたバターは、ヘッドの重心がフェースセンターにあり、約3ミリの幅の上で完璧にバランスを保つ。フェース中心にスイートスポットがあり、そこで打つことで球の転がりが良くなる。削り出しバターの先人達が勤と業で目指した性能を、彼らは最新の加工技術で実現しているのだ。そもそもクロノスゴルフのデザイン、フィリップ・ラバーズ氏は米

ゴルフ産業の中心、カリフォルニア州カールスバッドで青春時代を過ごした人物。拳銃の部品や削り出しされた工場を営む友人宅で学生時代から精密加工の技術に触れてきた彼にしてみれば、クロノスゴルフの精度の高さは必然なのである。しかも、彼らが特異なのは、そうしたテクノロジーをユーザーに意識させないことだ。ネックの長さや太さを調整し、フェース重心寄りに重心を寄せたし字バター「ダーシー」も、フランジ後方に肉厚のある「マンダラ」のマレット「マンダラ2」も、アドレスした際にはそうした構造をユーザーに一切意識させないがそこにあるからだ。旧き良きバターを現代に馴染むよう仕立て直す。ミルドバターの次世代を担うのは彼らのようなブランドだろう。

感性

テクノロジーを意識させない構造

アドレス時の見た目は変えずに、フランジ後方に肉厚をもたせることで高い慣性モーメントを発揮するマレット。プレート部分の両端をわずかに内向きにカットすることでストロークの軌道を補正するなど、ユーザーが意識しない部分にまで心遣いがあるのがクロノスの特徴だ。



KRONOS MANDALA 2.0

スワンテールフリンジ(フェース側からバックフェース側へ向かう曲線美)を備え、見た目以上のMOIを発揮するマレットタイプ。¥54,000+税



KRONOS PATINA Camo Penny



KRONOS HAWAIIAN

虹色に輝く特殊なPVDコーティングを施したヘッドとそれに合わせた専用デザインのヘッドカバー、シャフトが特徴。表面処理の異なる2種類があり。¥120,000+税

本物

遊び心はとことん突き詰める

不定期にリリースされる限定バターもクロノス流のごわぎが満載。例えテーマがハワイなら、ヘッドの虹色のフィニッシュに合わせたバナナの葉柄のバターカバー、白い砂浜をイメージしたシャフト、グリップの素材にも本革を選ぶなど細部まで妥協はない。

profile フィリップ・ラバーズ

クロノスゴルフの代表にして若きバターデザイナー。米カリフォルニア州カールスバッド出身。学生時代はスクランチプレイヤーでならしたアスリートゴルフラーでもある。



ゴルフ産業の中心、カリフォルニア州カールスバッドで青春時代を過ごした人物。拳銃の部品や削り出しされた工場を営む友人宅で学生時代から精密加工の技術に触れてきた彼にしてみれば、クロノスゴルフの精度の高さは必然なのである。しかも、彼らが特異なのは、そうしたテクノロジーをユーザーに意識させないことだ。ネックの長さや太さを調整し、フェース重心寄りに重心を寄せたし字バター「ダーシー」も、フランジ後方に肉厚のある「マンダラ」のマレット「マンダラ2」も、アドレスした際にはそうした構造をユーザーに一切意識させないがそこにあるからだ。旧き良きバターを現代に馴染むよう仕立て直す。ミルドバターの次世代を担うのは彼らのようなブランドだろう。